

求め補正する。

### 備 考

(1) 試料のはかりとりはカルシウム含有量によりつぎのようとする。

カルシウム含有量 (%)	はかりとり量 (g)
0.006 以下	5
0.006~0.015	2
0.015 以上	0.5+純鉄1.5

(2) ランタン溶液：酸化ランタン1.17gを硫酸(1+1)10mlに溶解し、500mlにうすめてランタン2mg/mlとする。

(3) 特に輝度を増加したい場合には、エチルアルコール13mlを加えたのち水で標線まで薄める。但しその際は同様にして作製した標準溶液及び検量線を用いる。

(4) 測定に最も適する波長は使用する装置により多少異なるのでそれぞれえらぶ必要がある。

(5) ガス圧についても使用する装置により多少異なるので検討を行ない適當なガスを決める必要がある。

(6) バックグラウンドの測定波長についても使用する装置に従つて適当にえらぶ必要がある。

(7) 検量線の作製：カルシウムを含まぬ鉄2gづつをとり、これにカルシウム標準溶液(カルシウム0~200μg)及びランタン溶液を夫々加え本文に従つて操作する。カルシウム濃度と輝度との関係を求め検量線とする。

(特許記事 1819ページよりつづく)

岩田康史、出願：日東化学工業株式会社

#### バナジウム酸化物又はバナジウム含有酸化物型

#### 濃縮物を使用して鋼中にバナジウムを添加する方法

特公・昭36-14456(公告・昭36-8-26) 出願: 34-8-27, 発明: 神田一男, 成田貴一, 出願: 株式会社神戸製鋼所

#### 純鉄又は特殊鋼の製造に用いる砂鉄及び低品

#### 位酸化鉄鉱を原料とする海綿鉄電極の製造法

特公・昭36-14457(公告・昭36-8-26) 出願: 34-6-29, 発明: 堀居太郎, 出願: 志村化工株式会社

#### 耐蝕耐熱材料の真空熔解法

特公・昭36-14458(公告・昭36-8-26) 出願: 34-10-26, 発明: 川畠正夫, 横田孝三, 渡辺哲弥, 出願: 日本冶金工業株式会社

#### 鉄鋼製品の酸洗滌方法

特公・昭36-14462(公告・昭36-8-26) 出願: 34-9-30, 発明: 福井三郎, 出願: 三菱造船株式会社

#### ステンレス鋼表面上への各種金属の鍍金法

特公・昭36-14463(公告・昭36-8-26) 出願: 34-9-9, 発明: 柴田孟, 牛尾鉄二, 友野理平, 出願: 三島光産株式会社

#### 鋳型スキズ装置

特公・昭36-14603(公告・昭36-8-29) 出願: 35-3-22, 優先権: 1959-9-14(米), 発明: アーネスト・エヌ・マックヴィゼイ, 出願: ハーマン・ニューマティック・マシーン・コムパニー

#### アーク溶接用粉末磁性溶接剤

特公・昭36-14604(公告・昭36-8-29) 出願: 33-3

(8) カルシウム標準溶液の調製: 純粋な炭酸カルシウム0.125gを塩酸(1+1)10mlに溶解したのち、水で500mlにうすめ、0.1mg Ca/mlの溶液を作る。

(9) この方法の所要時間は大略つぎのようである。

操 作	所要時間 (mn)
試 料 秤 量	1
分 解	20~40
フッ化水素酸添加	17~22
および沈殿生成	
汎 過, 洗 浄	20
灰 化, 加 熱	5
溶 解 お よび 希 釀	4
輝 度 測 定	2
計 算	1
計	70~95(mn)

#### 文 献

- 1) 19委-4996 後藤委員 東北大学金属材料研究所 (池田, 木村)
- 2) 19委-5637 綾部委員 富士製鐵(株)釜石製鐵所 (塚田, 江藤)
- 3) 19委-5812 和田委員 八幡製鐵(株)八幡製鐵所 (武井, 田巴, 寺山)
- 4) 19委-5964 後藤委員 東北大学金属材料研究所 (後藤, 古川)
- 5) 19委-6142 小林委員 (株)日本製鋼室蘭製作所 (木山, 藤森)

—31, 優先権: 1957-4-3(米), 発明: ハリー・エドワード・ケネディー, ゲラード・エデン・クラウセン, 出願: ユニオン, カーバイド・コーポレーション,

#### 金属管の製造方法

特公・昭36-14605(公告・昭36-8-29) 出願: 34-12-31, 出願発明: 周東喜一郎

#### 下注鋼塊製造法

特公・昭36-14701(公告・昭36-8-30) 出願: 32-10-23, 出願発明: 的場源二

#### 電弧溶接用心線の製造法

特公・昭36-14703(公告・昭36-8-30) 出願: 33-12-5, 発明: 木原博, 出願: 八幡溶接棒株式会社

#### 電弧溶接装置

特公・昭36-14705(公告・昭36-8-30) 出願: 33-10-11, 優先権: 1957-10-11(米), 発明: マーチン・レブュフォン, 出願: ウェスチングハウス・エレクトリック・コーポレーション

#### アーク溶接法

特公・昭36-14706(公告・昭36-8-30) 出願: 33-12-10, 優先権: 1957-12-10(米), 発明: フランク・ウォルタ・アームストロング, 出願: ザ・バブコック・アンド・ウィルコックス・コムパニー

#### 自動的溶接トーチ

特公・昭36-14707(公告・昭36-8-30) 出願: 33-12-26, 優先権: 1957-12-26(米), 発明: ウィリアム・リチャード・アップブレット, ジョアンス・アルフレッド・ウェデキンド, 出願: フォスター・ウイラー・コーポレーション